

事務事業名	プラネタリウム公開事業		担当	教育委員会 科学教育センター 科学教育センター	
政策名	1	「人づくり」～豊かなこころアップ!～	施策名	4	生涯学習の推進
成果指標	名称		単位	5 年度実績	
	プラネタリウム一般公開開催日数		日	37	
	プラネタリウム一般公開観覧者数		人	2261	
	プラネタリウム団体利用観覧者数		人	2805	
事業概要	科学教育センターは直径18mドーム式、プラネタリウム投影機及びデジタル投影用プロジェクターほか補助投影機、音響機器を備え、生涯学習の一環として上映期間中の毎週土曜日、夏季休業中（夏休み）に1日2回程度、おとな〈高校生以上〉200円、子ども〈4歳以上～中学生〉100円で一般市民に公開している。また、平日には団体利用の受け入れ、また、県民の日協賛事業として6月にプラネタリウム無料公開を実施している。				
5 年度実績・成果・課題	・プラネタリウム一般公開事業に関しては、予定通り34回開催することができた。新型コロナウイルスが5類に移行したことにより、観覧者数は感染拡大前の令和元年度とほぼ同レベルまで回復してきた。 ・アンケートの結果を見ると、約95%の観覧者は一般公開の内容の評価を「とてもよかった」「よかった」としていることからプラネタリウム一般公開の満足度は高いと言える。 ・今年度は最終年度となるので、客層を考慮した番組選定、X（旧ツイッター）やホームページを用いた宣伝を行い、集客を伸ばしていきたい。 ・プラネタリウム団体利用観覧者数に関しては、他市町の児童も観覧に訪れており、天体学習プログラムが好評である。そのニーズに応えるために、学習プログラムの工夫をしていきたい。				
今後の方向性と具体策	☒ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統合 ☐ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 【具体的な改善案】				